

# 今月の古河っ子

いい子が育つ古河



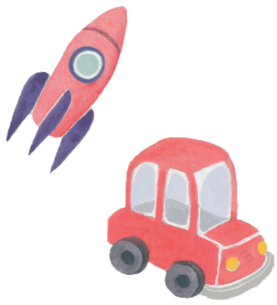
稲生葵 くん  
(令和7年6月生まれ)  
あおちゃんに会えてママは  
幸せ！ 大好きだよー！！



沼田澪奈 ちゃん(左)  
(令和7年6月生まれ)  
お兄ちゃん大好き☆毎日癒  
やしをありがとう！



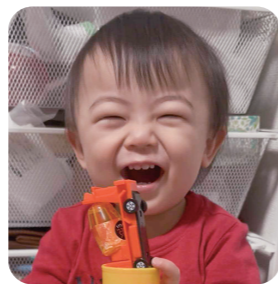
館山紗和 ちゃん(左)  
(令和7年4月生まれ)  
お互いのことが大好き♡二  
人仲良く大きくなってね！



館野仁珂 ちゃん  
(令和7年4月生まれ)  
たくさん笑ってたくさん泣  
いて、大きくなってね♡



石川青芭 ちゃん  
(令和7年5月生まれ)  
青芭がたくさん笑顔でいら  
れますように☆



吉本灯志 くん  
(令和6年12月生まれ)  
新学期！ 変わらず元気な  
灯志くんできてみよう！

お子さんの写真を募集中！ <対象> 0~3歳の市内在住のお子さん <応募方法> メール・電話で受付中。メールの場合は件名を「今月の古河っ子応募」とし、本文に「お子さんの氏名(ふりがな)・生年月日・父母の氏名・住所・電話番号」を明記し、city.pr@city.ibaraki-koga.lg.jp(☎シティプロモーション課TEL92-3111)へ申し込みください！



わたしの夢

## 茨城の魅力を伝えたい

山中真央さん 水海小学校6年生

私の将来の夢は、県職員になることです。きっかけは袋田の滝を訪れて「こんなにいい場所なんだ」と心を動かされ、興味を持ったことです。もっと県のことを知りたくてたくさん調べてみると、県の魅力を知らない人たちがたくさんいることを知りました。さまざまな観光名所に実際に足を運んでみて「こんなにいいところを周知しないのはもったいない」と感じました。もっと各地の名産品や魅力を全国に発信していきたいです。また、今ある地元愛や人一倍ある知識を使って県や市に貢献したいです。



キラリ  
古河ビト

長く活躍できる選手に  
競輪選手

山岸佳太さん36歳・原町

約2千人もの選手が所属する中で、長年S級1班(約220人所属)で活躍し続ける山岸さん。職業としての競輪に魅力を感じ、この世界で生きていくと決めた山岸さんに、今までの選手人生や今後の目標について伺いました。

大学卒業後の進路について悩んでいた時期に、父から勧められたこともあり、競輪選手になると決めた山岸さん。頑張り次第で活躍の場が増える点や、他のスポーツと違い選手生命が長い点に惹かれたと話します。競輪選手になるためには、日本競輪学校への入学が必要ですが、合格までの道のりが険しく、入学するまでの4年間で一番大変だったと当時の振り返ります。

師匠である堀政美さんとの出会いもこの頃。同じ古河市出身ということで師弟関係を結び、合格に必要な知識や技術を学びます。「師匠にはアマチュア時代からお世話になっていきます。競輪学校の試験前、師匠がけがをして手術が必要だったにもかかわらず、僕の練習を優先してくれたり、今も早朝から練習に付き合ってくれたりするなど、感謝に堪えません。もっと活躍し、結果を出して恩返しをしたい」と話します。

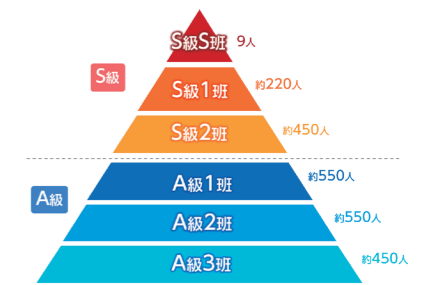
今後は国内最高峰レースのグランプリやG1レース決勝戦に出場することが目標。また自分の活動を通じて、同じ古河出身の選手が増えたらうれしいと笑顔で話してくれました。練習も仕事のうちと、師匠譲りのストイックさを武器に成長を続ける山岸さん。今後のさらなる活躍がとて楽しみみです。



▲優勝し、元プロ野球選手の宮本氏と



▲最高時速は70kmに達することも



▲実力に応じて6つの級班に分かれます